

令和6年度 第1回自転車駐車対策審議 会議録

日 時

令和6年6月21日(金)午後1時30分～午後3時30分

場 所

流山市役所 第2庁舎3階304会議室

出席委員

寺部委員、小川委員、海老原委員(代理 塚田氏)、高鍋委員、大塚委員、齋藤委員、
北原委員、松井委員、山崎委員、西委員、平井委員、局委員、立花委員、上野委員 (14名)

傍聴者

3名

事務局

土木部長 染谷 祐治

土木部次長 遠藤 康弘

道路管理課 課長補佐 近藤 広隆

道路管理課 交通安全対策係長 皆川 裕美

道路管理課 交通安全対策係 主事 武内 美里

議 題

- ・委嘱状 交付式
- ・令和6年度 第1回審議会

配布資料

- ・次第
- ・意見質問シート
- 【資料1】「流山市自転車駐車場の概要」
- 【資料2】「自転車駐車場の現状と課題」
- 【資料3】「自転車駐車場を取り巻く変化」
- ・参考資料

議事録(概要)

(事務局)

それでは、改めまして、令和6年度第1回流山市自転車駐車対策審議会をはじめます。

本日はお忙しい中、お集まり頂きありがとうございます。

審議会に際しまして事務局からお願い申し上げます。議事録作成のため、録音を致します。このため、大変お手数ですが、発言の折りには、必ず冒頭で氏名を名乗って頂きますようお願いいたします。

議事進行につきまして、流山市附属機関に関する条例第5条第1項の規定により、会長にお願いするところですが、まだ、会長が選任されておりませんので、会長の選任まで、仮会長として土木部長の染谷により議事を進行させていただきます。

それでは、染谷土木部長、よろしくお願いいたします。

～仮会長、染部長へ進行を移行～

(染谷部長)

土木部長の染谷でございます。それでは、議事を進行させていただきます。

まず、本日は委員の初顔合わせですので、一人あたり30秒程度で寺部委員より自己紹介をお願いできればと思います。

～各委員 自己紹介～

(染谷部長)

ありがとうございました。それでは、次第2の会長の選出に移ります。

当審議会の会長を選出したいと思います。会長に推薦、自薦される方はいらっしゃいますか。

～寺部委員 立候補～

(染谷部長)

寺部委員より挙手を頂きました。

寺部委員に会長をお願いしたいと思います。皆様いかがでしょうか。

～「異議なし」の声～

(染谷部長)

「異議なし」とのことですので、会長に寺部委員、よろしくお願いします。

なお、会長が選任されましたので、ここで会長の交代をしたいと思います。よろしくお願いします。

—以降、寺部会長の進行へ移行—

(寺部会長)

会長の寺部です。それでは次第に従いまして、議事を進行してまいります。

現時点での出席状況は、流山市附属機関に関する条例第5条第2項に規定する人数に達しておりますので、会議は成立していることをご報告します。

では、次第に沿って審議会を進めてまいります。

次第3「流山市自転車駐車対策審議会について」事務局より説明願います。

それでは、本流山市自転車駐車対策審議会について、改めてご説明します。

～説明～

(寺部会長)

ありがとうございました。続きまして、次第4「諮問」に進みます。

本来であれば、市長より当審議会へ諮問書をお渡しするところですが、公務の都合により、市長の代理として、土木部長の染谷より諮問書をお渡します。

～染谷部長から諮問書の読み上げ、会長へ交付～

(寺部会長)

では、続きまして次第4(2)の諮問内容について、事務局より説明をお願いします。

～諮問事項について説明～

(寺部会長)

ありがとうございました。

では諮問内容の審議にあたり、次第5(1)流山市 自転車駐車場について、事務局より説明をお願いします。

～「流山市 自転車駐車場(概要)」について説明～

(寺部会長)

ありがとうございます。

時間に限りもありますので、一通りの説明が終わった後に質疑応答の時間を設けられればと思います。

次に、次第5(2)「流山市 自転車駐車場の現状」、次第5(3)「自転車駐車場を取り巻く変化について」の2点を続けて事務局より説明をお願いします。

(事務局)

はい。

～「流山市自転車駐車場の現状」について説明～

(寺部会長)

ありがとうございました。

事務局より、本審議会に対する諮問事項と、自転車駐車場の現況、課題などについて説明を頂きましたが、委員の皆様よりご質問や、ご意見など御座いましたら挙手をお願いします。

なお、発言の際は、最初に事務局より案内のありましたとおり、冒頭にご自身の氏名を名乗った上でお願いします。

～質疑応答～

(高鍋委員)

ご説明頂きました審議内容ですが、お聞きしましたところをまとめますと、利用料金の見直しと、受け入れるバイクの種類を検討するというところでよろしいでしょうか。

(事務局)

高鍋委員からいただきましたとおり、使用料の見直しとバイクの受け入れ種類について検討いただきたいのですが、その他は資料1をご覧くださいとわかりやすいかと思います。

事務局としましては、より多くの方に施設をご利用頂きたいと思っておりますので、例えば無料開放日を少し拡大するとか、利用料の免除対象を少し増やすとか、そういったことも含め、審議会でご検討頂ければと思っております。

(寺部会長)

はい、ありがとうございます。料金については約300万円の赤字なので、赤字を解消するような案を検討してほしいとのことですね。分かりました。

ほかにご質問ありますでしょうか。

では北原委員、お願いします。

(北原委員)

先ほど説明いただいた資料ですと流鉄流山線は残念ながら利用が少ない状態が続いておりますが、他の施設と同じように値上げしてしまうのでしょうか。料金の見直しとなると値上げのイメージがありますが、いくらぐらいの値上げを事務局ではお考えなのでしょうか。

(事務局)

今回の利用料金の見直しということなので、全てを値上げすることは私どもとしても考えておりません。利用率が低い施設の料金を値上げしてしまうと、ますますご利用が減ってしまうことを予想されますし、それに伴って、駐輪場に停めずに自転車を置いていってしまう、いわゆる放置自転車問題に発展しかねません。

このため今回は利用率、例えば、人気が高い施設はもちろん値上げの検討も必要とは思いますが、人気の低い施設についてはできるだけ低価格で設定をして、ご利用率を上げていければと考えております。

(寺部会長)

ありがとうございます。ほかにご質問ありますでしょうか。

では、松井委員お願いします。

(松井委員)

私はですね、40年以上、駐輪場を使っていますけれども、働いている人の動きがあまりよくないんですよね。いつか事故が起きたりするんじゃないかという危惧があるものですから。働いている方の教育についてもうちちょっと考えていただければと思います。

(寺部会長)

動きがよくないというのは、例えばどのようなことですか。

(松井委員)

働いている人はシルバー人材センターから派遣されている方が非常に多いですけども、ちょっとですね、動きがちょっと危ないなど。安全とかについても少し考えて頂ければありがたいなと思います。

通勤時間帯が、一番人が多いですが、つい数年前までは、自転車を1、2センチちょこちょこ動かして、整理整頓していました。そういう、次に来る人が利用しやすいような状態をつくってくればいいのですが、そういう状況までいってないことが非常に多いです。

(寺部会長)

事務局、ご回答お願いします。

(事務局)

流山市の市営自転車駐車場の管理については、本日ご出席をいただいております、公益社団法人シルバー人材センターと流山市で、指定管理者制度という形態をとっています。こちらはご意見としてちょうだいしまして、私どもと指定管理者の間でお話しできればと思います。なお、今回の審議会の内容とは異なりますので、別途ご意見として承りたいと思います。

(寺部会長)

ほかに質問ありますでしょうか。では、上野委員お願いします。

(上野委員)

まず、質問というか確認をさせていただきたいのですが、資料1のところですね、各駅の年間利用料金と書いてございますけれども、江戸川駅とか初石駅は柏市民も使っているかと思いますが、流山市民と他の市民とで料金の差があるのでしょうか。

つくばエクスプレスでの柏方面行く流山市民も多いと思うが、他市町村においては同じ料金になっているのでしょうか。

もう1点ですね、先ほどの説明の中で、減免についてはすでに決まった減免対象がございますけれども、減免対象を拡充するということで、事務局のほうで何か、素案のようなものをお持ちなのか。

(事務局)

まず、1点目の年間利用料金についてなんですけれども、市内と市外の方で、利用料金を変えると
いったことはしていません。ですので、市内にお住まいの方でも市外にお住まいの方でも同一の料金
でご利用いただけます。実際のところは流山市内にお住まいの方がほとんどでございしますが、運河の
堤防など、市外から学生さんがいらっやって、高校に通うときに駐輪場に置いてある自転車に乗って
行かれる利用者様が多いと事務局では感じております。

また、近隣の市町村でも、市独自で、料金設定をしております、私どもでお調べしたところ、近隣市で
もやはり市内在住の方と、市内在住の方で料金設定を変えている市町村もございました。ただ、流山
市は現在、同一価格で設定しておりますので、事務局としては、この点について見直しをするといふこ
とは考えておりません。

2点目の減免対象についてですが、今現在、生活保護受給者とその家族や、身体障害者手帳をお持
ちの方ですとか、だいたいどの市町村でも利用料免除などの対象としてなっている方を対象としてい
ます。私どもといたしましては、流山市というのはいはり子育て世代を応援するというまちでございま
すので、ひとり親家庭への支援として、そういった方を対象にするとか、難病指定を受けている方の就労
支援ということで対象とすることを考えております。

あとは、ご高齢の方の免許返納を市のほうでも促しております、まちづくり推進課では昨年度、75
歳以上の方で免許を返納された方にバスやタクシーの補助を行っております。自転車も車にかわる代
替交通手段になりうらと思しますので免許を返納された方を対象にすることも考えております。

また、他にもそういったご意見等ありましたら、委員の皆様から頂ければと思います。

(高鍋委員)

もう一度、質問よろしいでしょうか。

(寺部会長)

はい、どうぞお願いします。

(高鍋委員)

バイクについて質問させていただきます。現在の資料を拝見いたしますと50ccの原付バイクの生産
中止により、125ccバイクの受入拡大を考えられているとのことですが、それ以上の、中型・大型バイ
クについてはどうなのでしょう。

質問の背景といたしましては、私たち自転車駐車場整備センターでもバイクの受入をやっておりますが、非常に要望が多く、自転車に比べまして、ほかに置ける場所が少ないということで、行って見て止められなかったとなると、放置されることがあると思います。なので、中型・大型の受入を検討されたらどうかと思ひまして。

(事務局)

参考資料1 ページ目の下段にありますように、近隣市等では野田市以外が125ccまでの小型バイクの受入れをしていらっしゃるということが確認できました。今後、法令改正等もありますので、まずは125ccまでの小型バイクの受入れを、確実に行っていきたいと思ひております。

ただ一方で、高鍋委員からご指摘のとおり、バイクの保有台数資料の方を見ていただくと、中型バイクの保有台数が市内で増えておりまして、停める場所がないということで、どこに停めたらいいかという問合せを市にいただくこともございます。

駐輪場の構造的にも、受入れが難しい施設もありますが、どこまで受入れを行うか、今回ご審議いただいで整理していきたいと思ひます。

ただ、原付が生産販売終了になってしまいますと、中古ぐらいいしか市場に出回らなくなります。それを考えると、これからバイクの保有台数が延びていくことが推測できますので、こちらについても駐車場所は確保できたら理想的だと思ひます。

(寺部会長)

ありがとうございます。ほかの質問ありますでしょうか。

では私から質問ですが、一時利用の料金設定はどんな感じでしょうか。

(事務局)

資料1の説明の際にお話しすることが抜けていました。申し訳ございません。

こちらの条例に定められている価格としては使用料、自転車1台当たり1回103円、原付1台当たり1回208円という設定になっておりますが、1円単位というのが、利用者様にとっても分かりにくいので、指定管理者との協定の中で、100円と200円という料金となっております。

回数券につきましては、12枚綴りの回数券の販売しておりまして、条例ですと回数券は、自転車1台当たり、1,047円、原付自転車は2,095円となっております。実際、指定管理者で設定している料金は1,000円と2,090円でよろしいでしょうか。シルバー人材センターさん。

(塚田氏)

そうだったと思います。

(寺部会長)

わかりました。

流鉄沿線はあまり値上げしないとの話が先ほどありましたけど、後は、人気があるところは、高くしてもいいかなと思いつつ、でもやはり稼働率にまだ余裕があるので、これでまた利用者減ってしまったら、あとはひたすらに値上げせざるを得ない状況になってしまいます。

今回値上げを検討するのは、市営の駐車場ですけど、それ以外に、例えば運河駅だと東武さんが運営している駐輪場がありますよね。ラック式の1回とめて機械で支払うものが。そこと比べて市営が高かったら、結局負けてしまうので、その辺を考えないといけないなと思います。

あとは、流山おおたかの森のあたりだと、自転車駐車場整備センターさんが運営していると思いますが、例えば初石駅とおおたかの森駅の間ぐらい住んでいる人は使用する駅を選べるとは思います。利用料金を高くして負けると本末転倒になるのではないかと、心配ですね。

(事務局)

実際、料金設定を具体的に検討するというのはとても難しいなというのが事務局としても思っているところでして、今、これまでの数値ですとか、利用の状況、現状ですとかいろいろ調べながら、皆様にご利用頂けて、かつ、今の赤字の解消に至れる、具体的な料金設定を試算しているところです。ただ、参考資料が分かりやすいかと思いますが、江戸川台駅や運河駅の乗降客数と近い駅として柏市の新柏駅と高柳駅で、少し離れてしましますが、さいたま市の大和田駅、これらの駅と比較しています。

一日平均の乗降客数が市内の駅と近い、他市の駐輪施設と比較していただくと分かりやすいですが、流山市は他市に比べてかなり安いことが分かります。これらをふまえて、値段を検討いただければと思います。

現段階での試算で申し上げますと、改定後の値段も他市よりは安い設定になるかと推測しています。

(寺部会長)

具体的には次回の審議で、その辺りの具体的な利用料金とか、こんな数字にしてみましたとか、ご説明いただければと思います。

ほかの委員の皆様いかがですか。ご質問、ご意見ありませんか。

それでは意見も出尽くしたと思いますので、
次第6の「その他」で、事務局より何かありますか。

(事務局)

本日はご審議頂き、ありがとうございました。

今回頂いたご意見を踏まえ、次回の第2回審議会にて、改定案の素案をご提案させて頂きたいと考えております。

また本日の審議会終了後、別途、ご意見やご質問など御座いましたら、お手元に配布の「意見・質問シート」にて頂戴できればと思います。

こちらはWEB回答のほか、メール、FAX、郵送にてご提出頂くことが可能です。WEB回答はスマートフォン等のQRコードを読み取って頂くと、その場で回答が可能となっていますので、ぜひご活用ください。

なお、回答期限は令和6年6月28日金曜日とさせていただきます。ご了承ください。

当シートで頂いた内容は、次回の審議会に公表させて頂き、事務局より回答をさせていただきます。

最後に、次回の第2回審議会は、7月24日の水曜日の午後を予定しております。

詳細な時間など決まりましたら、改めて開催通知にてお知らせ致します。以上です。

(寺部会長)

ありがとうございました。

それでは、これもちまして本日の審議会を終了させていただきます。

委員の皆様、長時間にお疲れ様でした。